

答 申 第 3 号  
令和5年10月13日

那覇市長 知念 覚 様

地方独立行政法人那覇市立病院評価委員会  
委員長 與儀 實津夫



地方独立行政法人那覇市立病院第4期中期目標期間見込み評価について(答申)

令和5年9月25日付け諮問第3号について、下記のとおり答申いたします。

記

第4期中期目標期間の業務実績見込評価に対する意見について

別紙「第4期中期目標期間の業務実績見込評価に対する意見」のとおり答申します。

地方独立行政法人那覇市立病院

第4期中期目標期間の業務実績見込評価に対する意見

令和5年10月

地方独立行政法人那覇市立病院評価委員会

本評価委員会において、那覇市長より令和5年9月25日付け諮問第3号で諮問のあった「地方独立行政法人那覇市立病院第4期中期目標期間見込み評価」について審議を行った。その結果は以下のとおりである。

全体として、中期目標・中期計画を順調に達成する見込みである。  
中期計画第1から第4の各事項については次のとおりである。

### **第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項**

新型コロナウイルス感染症の影響で、診療制限を行いながらも、365日24時間の救急医療体制を維持しており、救急車の受入率は高水準を保ち、公立病院としての役割を果たしていると評価する。コロナ感染拡大時には最大63床の即応病床の確保（令和3年度）し、発熱外来・PCRセンターの設置、小児救急患者への受診体制の確保等、保健所との緊密な連携を行ったこと、また、医療支援の取組みとして、県コロナ対策本部の派遣要請に対応し、活動を行ったことを高く評価する。

### **第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項**

コロナ禍の早い段階より「那覇市立病院コロナ対策本部」を立ち上げ、多職種が連携して取り組んだこと、また、職員のメンタルケア対策として、コロナ禍でも行えるオンラインフィットネスの導入や「職員やりがい度調査」の実施、令和6年度から始まる医師の働き方改革に向けて委員会設置等、働きやすい職場環境づくりへ努めたことを評価する。

### **第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置**

診療報酬の請求は、全国平均より低い査定率を維持、健全な診療報酬請求を継続していることを評価する。新型コロナウイルス感染症の影響により「医業収支比率」は悪化しているものの、補助金等収益を活用することで「経常収支比率」の100%超を継続したことを評価する。

### **第4 その他業務運営に関する重要事項**

物価高騰や建築価額の高騰により建築費が増加することも考えられるが、那覇市と調整しながら新病院建設を着実に推進していただきたい。